

もう10月!すぐ冬がやってきます

今年は特に暑い夏でした 冬はどうなるのでしょうか

なな なか まど

令和5年10月1日(日)
第63号
一般社団法人
猿 払
なななかまどの会
会 報



夏の思い出・ファイターズガールと

もう十月。暑かった夏も足早に去っていききました。あちこちで大雨も降りました。宗谷管内でも警報が何度か出ましたが、この冬はどんな天気になるのやら。「暖冬」とはいわれてますが：

まず、農業資料館が解体されます。そして、現在整備が進んでいる「ちびっこ公園」。きっと来年の夏にはたくさんのお子どもたちの遊び場になるでしょう。



この夏、道の駅さるふつ公園は、多くの旅行者でにぎわいました。バイクのツーリングが多く、キャンピングカーも例年並みに戻ってきました。滞り型が多くもなっていました。今後、さるふつ公園も少しずつ変化していきます。



きっと来春オープンでにぎわう遊具たち

学力アップは、まずわかる授業・楽しい学級から

先日拓心中学校の令和五年度「全国学力学習調査(学力テスト三年生対象)」の結果が公表されました。

全道平均に近づいた教科もありましたが、正答率でいうと半分以下の生徒の割合が多く、学力向上の向けて村を上げて真剣に取り組むことが必要だと感じました。

学力向上にはまず、「学習意欲」次に「学習習慣」そして何より「わかる授業」「楽しい学級」作りが肝です。

中学校で学力向上を果たせる生徒はよっぽどの覚悟がなければなりません。それは「将来〇〇になりたい」「〇〇の仕事がしたい」という将来に向かってのしっかりとした覚悟です。じゃ覚悟のできていない生徒は学力向上は果たせないのではしよいか。小学校での基礎・基本ができていれば大丈夫です。

中学校での学力低下は中学校だけの問題ではありません。小学校でどれだけ学力を伸ばせたか、ということと大きく結びついています。小学校で子ども達が「勉強って楽しい」「わかることって面白い」って「学習意欲」を高め宿題や家庭学習を通して「学習習慣」を身に付けていると黙ってても学力は向上します。そうするためには先生方の弛まない努力と工夫が必要です。保護者の協力も必要です。

子ども達のタイプはいろいろです。視覚優位の子、聴覚優位の子、空間認知の優れている子等々。

講義型の授業なんてナンセンスです。どうしても先生方は大学で講義形式で授業を受けてきます。その名残があるのかも知れませんが、教科書をなめるように教える教師がいました。教えるれば教えるほど子ども達は混乱し落ちこぼれました。

この単元では何を子ども達に身に付けてほしいか、という教師の思いを教科書からくみ取って、子ども達に合った授業を作っていく必要があります。子ども達の「学習意欲」も「学習習慣」も学力の向上も獲得できません。先生方、日々精進して指導力の向上を目指してください。頑張ってください。

ウノで神経衰弱 塾の様子



募集 ななかまどで働きませんか

障がい者手帳を持っていない方で、週に一度三時間から四時間、一緒にパンを作ったり、掃除をしてくれる方を募集します。勤務時間は、パン作りの方は、タッフが丁寧な教えがあります。マはあります。やってみたい方ご連絡下さい。

090-1647-6061
庄崎まで

ななかまどの会は障がい者の社会参加を応援している法人です

核兵器の使用は絶対反対！
戦争反対